

2025年度 福岡大学 前期理系 第1問(1)

問題 三角形の頂点を反時計回り（時計の針の回転と逆向き）に A, B, C とする。三角形の頂点を動く点 P は 1 秒毎に $\frac{1}{6}$ の確率で反時計回りに隣の頂点に移動し、 $\frac{1}{6}$ の確率で時計回りに隣の頂点に移動し、 $\frac{2}{3}$ の確率でその場に留まる。P が最初 A の位置にいるとき、2 秒後に P が B の位置にいる確率は であり、最初の 3 秒の間に P が一度も B の位置にいない確率は である。

S_fukuoka2025A.01.01.pbm